

新居浜市コミュニティ・スクール推進協議会会議録

日 時 令和6年2月9日（金） 15：00～16：30

会 場 新居浜市役所 5階 大会議室

出席者 教育長 高橋良光

委 員 土肥公一郎、濱田英稔、高須賀哲、小西優、山崎雄史、久石保
（代理：加藤清幸）、藤井和晴（代理：伊藤英二）、日野幸彦、篠原茂
（代理：秦典生）、田坂亮司（代理：藤田義和）、浦江賢治、神野恭多
（代理：神野剛）、本田龍朗、和田仲吉、小野健治、石村耕一、
岡野弥生、白川尚弘（代理：守谷和洋）、高野智志、畑野一恵、
藤田清純

アドバイザー 福本政代

欠席委員 木俵浩毅、竹林栄一

事務局 須藤充史、伊藤良夫、伊藤美和、岡義孝

傍聴者 0人

○伊藤指導主幹：ただいまより第2回新居浜市コミュニティ・スクール推進協議会を開催いたします。議題に入るまでの進行を務めさせていただきます、事務局学校教育課伊藤でございます。よろしくお願ひいたします。まず初めに、高橋教育長よりご挨拶申し上げます。よろしくお願ひいたします。

～教育長挨拶～

○伊藤指導主幹：それでは議題にうつりたいと思います。これからの進行を推進協議会会長の山崎委員にお願いしたいと思います。山崎委員さん、よろしくお願ひいたします。

本日、アドバイザーとして参加いただいております、大洲市地域コーディネーター福本政代様のご紹介をいたします。福本政代様は、大洲市の平野小学校、平野中学校の地域コーディネーターとしてご活躍されております。また、えひめ地域コーディネーター・ネットワーク代表も務められており、各地で講師を務めるなど、愛媛県全体のコミュニティ・スクール推進に貢献されております。本日は、大洲市における地域コーディネーターとしての取り組みをご紹介いただくとともに、ご助言をいただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

○福本先生：本日はよろしくお願ひいたします。

○山崎委員：司会進行を務めます垣生小学校の山崎です。よろしくお願ひいたします。

今回は昨年6月に引き続いて第2回目の推進協議会でございます。

各学校運営協議会の今年度の取り組みと課題の共有について、事前にご回答いただいております、活動報告に基づいて委員の皆さんから報告をお願いしたいと思います。それでは金子小学校学校運営協議会さんから順番にお願いします。

～資料に沿って各学校運営協議会（18校区）より活動報告～

○山崎委員：ありがとうございました。それぞれの校区につきまして、ご意見やご質問はありませんか。

ご質問などないようですので、アドバイザーの福本様よりご助言いただきたいと思えます。よろしく申し上げます。

○福本先生：失礼します。今、各校区の活動を聞いておりました、素晴らしい活動をされているなと思えました。私の方がお土産をいただいて帰る感じになり申し訳ないのですが、資料を拝見しておりました、地域学校協働活動推進員の有無のところをチェックさせていただくと、6か所くらいしかチェックされていなかったのですが、他の校区は地域学校協働活動推進員を設置されていないのでしょうか。

～委員より発言あり～

○福本先生：文部科学省が出している資料では、地域と学校をつなげるというような簡単な言葉で書かれていたと思うのですが、それに尽きるのかなと思います。大洲市と新居浜市は少し違っております、各校に地域コーディネーターが設置されており、座席があり、パソコンも置いてあるので作業ができます。私の場合は週に3日学校に行っております。市から委嘱状をいただいておりますので、そういう役割だと自負しながら活動しております。先ほど委員の方から発言があったように、地域コーディネーターになっているけど、よく分からないといった曖昧さはないのでやりやすいのかなと思っております。

学校運営協議会をすごく開催されている校区もあると思いますが、熟議というものをされたことはありますか。学校運営協議会の中であるひとつのテーマをもって、それに対して地域の方、学校運営協議会の方、メンバー同士で話し合うというもので、できれば年度初めにテーマを決めていると、熟議がやりやすいのかなと思います。大洲市の場合はその中に小学生と中学生に参加していただいております。地域の方と一緒にテーブルで8つに分け、6～8人程度で話し合いをしてもらいます。地域の方の意見を聞きながら、子どもたちも自分たちができることを発言できる場となっております。何年かぶりに復活した運動会では、地域の方と一緒に行う競技がなかった、そういった競技を取り入れてほしい、と子どもたちから意見がありました。また、地域の人たちが運

動会でブースを作ってくれるが、自分たちでブースを作ってみたいという意見が出て、来年度はそのテーマについて話し合おうかなという形で進めております。大人が一生懸命子どもたちのために活動し、子どもたちもその中でそういう大人に感謝し、自分たちにできることについて意見が言える場所があったら良いのかな、という思いもあります。

平野町にもボランティアが高齢化とか色々な問題が山積しております。その中で頼まれたからやるとかではなく、子どもたちに対してこうしたいといった思いを学校運営協議会で話し合っただけだったらいいのかなと思います。

～委員より意見あり～

○山崎委員：福本様、大変ありがとうございました。コーディネーターという新居浜にはない制度をご紹介いただきました。窓口を誰にするかというところだと思います。学校側は管理職、校長、教頭、もしくは担当者、地域の方は公民館長、あるいは地域のどなたかが窓口となりつなげていくということが、今は多いのではないかと思っております。今の大洲市のお話だとコーディネーターさんが学校にいて、そこが窓口になり、つなげているということだと思います。

そういった制度については、新居浜市の方に考えていただいて、進めていけるのなら、進めていただけたらと思います。

それではお時間がまいりましたので、これをもちまして本日の協議会を閉会させていただきます。本日はありがとうございました。

○伊藤指導主幹：本日は熱心にご協議いただきありがとうございました。会を閉じる前に本日司会を務めていただきました、山崎会長には大変お世話になりました。ありがとうございました。

来年度も6月と2月に本推進協議会を開催する予定でありますので、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。